

令和2年度 学校自己評価

中央国際高等学校		A	ほぼ達成 (8割以上)	B	----	変化の兆し (4割以上)	D	不十分 (4割未満)	評価	A～Dの4段階評価とする
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健全で知性にあふれ情操豊かな青少年を育成する。 ・社会で生き抜く力を身につけることのできる学習環境を地域社会と連携して構築する。 									
	目 標 及 び 実 績					自 己 評 価				
			達 成 状 況 申 告		所 見 ・ 特 記 事 項					評価
	今年度の目標	方 策 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況・次年度への課題		達 成 度	(評価の理由を記するとともに、特筆すべき実践がある場合はその事実を記入する)				
I 組織運営	①人材育成 ②情報共有 ③人材確保	①質の高い教育を提供するために組織的な人材育成を進め、職員一人ひとりの資質向上を図る。理念の共有、職員同士の相互理解、職員個々の経験の尊重と学内、学外での研修を実施する。②個々に持つ情報を共有し、諸問題の解決、情報、技術の属人化を防ぎ、より強固な組織作りと質の高い教育を提供できる学校運営を目指す。③生徒数増加に備え、科目に偏りなく教務職員を増員する。在職職員からの紹介、近隣大学への採用募集周知を強化する。	①②職員一人ひとりの目標の明確化、学校の目標の明確化が必要。情報共有は概ねできているが、業務分担における属人化が是正できていない。③新卒1名、中途採用1名の採用確保。退職者が出たため、実質1名増加。科目の不足があり、今後も増員が必要である。		B	①②業務分担は学校運営において重要であるが、担当業務以外について状況確認、問題解決について積極的な姿勢が見えず、特に上司による業務進捗状況確認の不足、情報共有などが不完全であった。③所在地の人口減少、特に若者の流出により、若手職員の採用が難しい状況が続いている。遠方の方を採用し御宿に移住してもらう形となっている。これが継続していけるかどうかは疑問もあり、千葉県内での採用のため、千葉県私学協会のリストの利用や県内大学への告知も、継続していく。				B
II 教育活動	①学習習慣と学力の定着 ②適切な進路指導 ③国際交流機会の提供 ④地域交流	①年2回ある御宿での集中スクーリングへの参加率を高め、レポートの指導を徹底して行うことで、着実に3年間で卒業できる生徒を育成する。②3年生では、とくに推薦などで進学を希望する生徒が多い現状に鑑み、小論文指導や面接指導など、単位取得以外の進学に必要な学習にも力点を置いていく。③集中スクーリングにおいて近隣大学の留学生をゲストとして招待し、生徒と交流機会を提供する。様々な国籍で、さまざまなバックボーンを持った留学生との交流が生徒の大きな財産となっている。④集中スクーリングで宿泊する民宿やボランティアの方々との交流を育んでいく。地域社会の一員であるという意識の醸成を図る。	①宿泊を伴う集中スクーリングを中止し動画視聴を中心とした形式に変更した結果、スクーリングに参加できない生徒は、ほとんどいなかった。②進学、就職と殆どの生徒が進路を決めることができたが、進路未決定の生徒を0人にするのが今後の課題であり、学校の使命である。③集中スクーリングを中止したため、留学生との交流が実施できなかった。④地域の方々との交流については、非常に困難な一年となった。		A	①本来であれば、年2回生徒がスクーリングに訪れ、御宿の自然を満喫しながら、勉強にいそむところであるが、コロナ禍によって残念ながら、それはかなわなかった。その代替として、御宿を舞台とした動画を作成し、生徒達はそれを視聴することでメディアスクーリングを体験することとなった。学指導要領に従い、各教科・科目の内容を活かしながら、充実した動画を作成することができた。生徒の評価も良く、ほとんどの生徒が積極的にスクーリングに取り組んだ。②コロナ禍によって登校制限も実施していく中で、オンラインなども活用しながら。進学指導を実施した。制約の多い中ではあったが、大半の生徒が進学や就職など、自らの進路を決定することができた。③④については、実施がほぼ不可能であったが、スクーリング動画の撮影を通じて、地域の方との交流は、少ないながらも行うことができた。令和3年度以降の課題となった。				A
III 安全・保健	①学校環境及び生活の管理に留意し、安全な学校生活が送れるよう配慮する ②コロナ禍における感染対策の徹底 ③行事、スクーリングにおける安全管理、機器・用具・火などを使用する際の安全管理の徹底	①校舎・教室・校地等設備の安全確認・整備に留意し、教職員に周知する。 ②生徒の登校制限や登校時の消毒などの徹底、対面の大規模な学校行事の中止などに取り組んだ。 ③各種実施要項に安全面の対策を盛り込み、行事・スクーリングを実施する。行事担当責任者、授業担当者が認識をしっかりと持ち、実施に当たっても責任をもって実行する。	①事務部が確認・点検・整備を担当し、特定の職員しか意識していない。全職員が意識し、適宜作業することを浸透させることが課題。②職員が危機感を持って取り組み、クラスターなどを発生させることなく過ごすことができた。③対面での学校行事は、ほとんど実施することができなかつたため、安全に対する意識の継続が課題となった。		B	①全職員が確認・点検・整備を担当する体制を作ることが求められているが、コロナによる変則的な勤務態勢もあって、特定の職員しか意識していない。全職員が意識し、適宜作業することを浸透させることが課題となっている。令和3年度において、責任分担制を導入して取り組んで行く予定。②職員が危機感を持って取り組み、クラスターなどを発生させることなく過ごすことができた。登校制限を実施し、生徒・保護者への電話、メールなどを徹底して危機を乗り切ることができた。③対面での学校行事は、ほとんど実施することができなかつたため、安全に対する意識の継続が課題となった。ただ、消防訓練は、時期を見て実施することができ、防火意識を確認することができた。				B
IV 連携	①生徒、保護者との密な連絡・面談等を実施し、良好な信頼関係を築く ②地域との連携強化	①日々、生徒の様子に注視し、コミュニケーションを密にとり、必要に応じて面談を実施する。定期的に保護者と連絡をとり、生徒情報を共有し、問題点があれば一緒に解決していく。必要に応じて三者面談・保護者会等を開催する。②ビーチサッカー大会の開催にあたっては企画、運営の中心となり、地域の活性化の一翼を担う。また、親子科学教室を開催し、地域の児童向け教育事業として学びの場を提供する。	①生徒への登校制限を実施したため、通常時以上に生徒・保護者への電話、メールでの連絡を頻繁に実施した。その際は、体調のチェックなども欠かさず実施した。また、動画も大いに活用した。通信制高校としての通常の形態に慣れているせいもあって、生徒、保護者からは大きなクレームもなく、年間を通して対応できたのは幸いだった。②動画の撮影での時を除き、地域と交流する機会は、ほとんど失われた。令和3年度での挽回に努めなければならない。		A	①生徒への登校制限を実施したため、通常時以上に生徒・保護者への電話、メールでの連絡を頻繁に実施した。その際は、体調のチェックなども欠かさず実施した。また、動画も大いに活用した。通信制高校としての通常の形態に慣れているせいもあって、生徒、保護者からは大きなクレームもなく、年間を通して対応できたのは幸いだった。②動画の撮影での時を除き、地域と交流する機会は、ほとんど失われた。天体観測会や科学教室など、交流行事を予定しただけに、残念であった。				A